



atsukok@abelia.ocn.ne.jp

電話 080-3027-2758 03-5803-1316(立憲・無所属議員控室) 住所 文京区小石川4-14-24-107

学校、子育て、介護、ご近所等々、気軽にご相談ください。一人で、家族だけで抱えて悩んでいると迷路へ入ってしまうことがあります。あなたの「今」に間に合うように解決策を共に考えていきます。ご相談に応じ専門家と連携します。



かいづ あつこ

あなたの「今」に間に合うように 子育て・教育・福祉の専門性をもってより良い文京区を

所属委員会 ◆ 文教委員会 / 自治制度・地域振興調査特別委員会

徹底的に区民目線で 区政をチエック!

プロフィール 1961年生まれ 共立女子大卒 1983年テレビ朝日入社 1992年退社後フリーで活動 著書「先生 親の目線をお願いします」(学研教育出版)他多数 2011年文京区議初当選

「誰もが住み続けたいと思えるまち」に住み続けられない!?

「住んでいてよかった」「住み続けたい」と思っていただけ、様々な世代を支える施策に全力を注ぐ」と区長は明言しています。現状は…住み続けたくても、「住み続けられない」文京区になりつつあります。

文京区人口 この16年で25%も増加

文京区は、現在の成澤区長が初当選してから16年。その間に人口は、約4万6,000人増えました。特に、14歳までの人口比率が2.5%増加しています。

| | 2007年(平成19年) 1月1日現在 | 2023年(令和5年) 1月1日現在 | 増減 |
|----------------|------------------------|-----------------------|----------|
| 人口 | 183,491人 | 229,653人 | +46,162人 |
| 年少人口(0~14歳) | 10.3% | 12.8% | +2.5% |
| 生産年齢人口(15~64歳) | 70.2% | 68.2% | ▲2.0% |
| 老年人口(65歳以上) | 19.4% | 19.0% | ▲0.4% |

文京区ホームページより



人口増加の裏で子どもたちにしわ寄せが!?

誠之小学校 建て替え中なのにすでに教室が足りない!?

「学級数分」の教室を確保するだけで精一杯

現在、改築2期工事中の誠之小学校は、設計時点では、一人ひとりの児童に寄り添い、きめ細やかな指導が行えるよう「少人数指導等による学習に用いる教室を含め、各学年4教室とする」としていました。しかし、工事中の今でも既に、当初予定していた各学年の少人数指導等の教室は**ありません**。誠之小に限らず、現在改築中の柳町小でも同様となる可能性が高いです。

誠之小学校の児童数比較

| 令和元年 | 令和4年 | 増減比 |
|------|------|------|
| 682人 | 853人 | +25% |

礒川小学校の児童数比較

| 令和元年 | 令和4年 | 増減比 |
|------|------|------|
| 310人 | 398人 | +28% |

文京区ホームページより



区の学校環境整備は児童数増加を楽観視!?

税金270億円を投入したシビックセンター前の春日後楽園駅前再開発事業。学区の礒川小学校の児童数は大幅に増加しています。さらに多数マンションが完成し、教室不足が深刻化することは**確実です**。が、区はいまだに楽観視しています。

後楽2丁目地区再開発 金富小学校も教室不足!

これから進む「後楽2丁目地区の再開発事業」の校区は金富小学校。区内の他の学校同様に、児童数増加で、学級数分の教室を確保するのがやっとです。少人数学習等の教室など、既に足りていません。再開発の影響で児童数が増えればさらに深刻に。

金富小学校の児童数比較

| 令和元年 | 令和4年 | 増減比 |
|------|------|------|
| 494人 | 545人 | +10% |

文京区ホームページより

区長が目指す「日本一の教育のまち」の学校がこれ!?

かつて、成澤区長は、文京区民はこの地を「文の京」と誇りとしており、「私としても日本一の教育のまちを目指している」と明言していました。成澤区長の16年間の実績が、単に「人口を増やした」だけであってはならないはず。

区は、「そのうち児童数が減少に転じるまでの一時的なこと」と高を括っているの?

近い将来、児童数が減少し空き教室ができれば、福祉等ニーズに応じて転用できるように最初から設計を工夫すれば良いだけ。一時的な人口増でも、子どもたちの「今」に間に合うように、多様な教育に対応できる学校環境を整備できてこそ、「日本一の教育のまち」を目指す区と言えます。



「文京区に住み続ける」施設の入居費用は!?

先々の見通しをもって、どのように暮らしていくか。

自身の老後、親の介護…いずれにしろ費用の問題が発生します。人生の最期を特別養護老人ホーム(以下、特養)などの施設で必要な介護サービスを受ける、という選択をする際、費用もまた重要な要件です。軽減措置※もあります。



※住民税世帯非課税の単身で預貯金が650万円以下といった場合には居住費・食費の負担軽減等の制度等もあります。グループホーム入所での軽減制度はありません。

問い合わせ 文京区介護保険課 03-5803-1388

厚生労働省によると令和3年度、老齢厚生年金の受給額は多くても年間で約220万円。国民年金加入者の老齢基礎年金にいたっては年間で約80万円です。終の棲家として特養を選択するにも、年金だけで賄うのは難しいのが現状です。

特別養護老人ホーム モデル的ケースの費用・月額(サービス費用・居住費・食費)

| 2~4人部屋 | | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|---------------------------------------|---------|----------|----------|----------|
| | | 1割負担の場合 | 91,830円 | 94,080円 |
| ユニット型個室 (リビングを囲むように 個室が配置されている) | | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
| | 1割負担の場合 | 128,400円 | 130,650円 | 132,840円 |
| | 2割 | 154,350円 | 158,850円 | 163,230円 |
| | 3割 | 180,300円 | 187,050円 | 193,620円 |

認知症高齢者グループホーム ユニット数1のモデル的ケース月額(サービス費用・居住費・食費・水道光熱費・管理費・日用品費)

| | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|---------|----------|----------|----------|
| 1割負担の場合 | 161,260円 | 161,830円 | 162,430円 |
| 2割 | 188,170円 | 189,310円 | 190,510円 |
| 3割 | 215,080円 | 216,790円 | 218,590円 |

「住み続けられない」文京区!?

文京区内の特養は、土地代が高いこともあり、事業者の採算が合わないことから、多床室を設置しない傾向が強まっています。事業者にとりて助成を行い、経済的負担の軽い個室の多床室を増やすなり、利用者負担軽減策を拡充するなど、努めるべきです。区内で暮らし続けられる選択肢を区民に提供することは区の責務です。

文京区は、「住み続けられる文京区」を目指しているといっても対応は後手後手で、経済的弱者を置き去りにしているようにも感じます。

利用料の軽減措置等で個室に入居できるケースもあります。一方、支払える経済事情に見合う多床室がなく、やむを得ず区外の特養に転居、文京区に「住み続けられない」ケースも。改善を求めています。

区内特別養護老人ホーム・定員数

| | 個室 | 多床室 |
|-------------|------|------|
| 文京大塚みどりの郷 | 29人 | 0人 |
| 文京くすのきの郷 | 2人 | 98人 |
| 文京白山の郷 | 1人 | 59人 |
| 文京千駄木の郷 | 25人 | 80人 |
| ゆしまの郷 | 38人 | 62人 |
| 洛和ヴィラ文京春日 | 99人 | 17人 |
| 小石川ヒルサイドテラス | 99人 | 0人 |
| 文京小日向の家 | 24人 | 0人 |
| 合計 | 317人 | 316人 |

住み続けられる文京区に!



誰ひとり取り残さない子育て支援 実情は!?

働き方が多様化する中で、延長保育や病児保育、一時預かり、夜間保育といった、多様な保育ニーズが高まっており、子育て支援の充実を図っていくことが重要です。が、文京区はまだまだこれからです。

小1の壁

小学校入学と同時に子育てと仕事の両立を続けられるか不安を抱く家庭は多い。保育園のときよりも、預けられる時間が短くなることで、困る家庭も少なくありません。

| | | |
|-----|-------------|-------------|
| 保育園 | 通常:18時15分 | 延長保育:19時15分 |
| 育成室 | 18時半(土曜17時) | 延長保育なし |



保護者のがんばりにも限界が

預けられる時間が変わること、働き方を見直したり、民間学童や習い事など子どもの一日の過ごし方を見直したり…、各家庭それぞれ考えていますが、限界があります。

区民の多様な働き方を支えるためには、巨大地震も想定し、**子どもだけで留守番させるという不安感を払しょくする施策が必須**です。

- 対応策 ● 育成室の時間延長
- 都型学童の低所得世帯への減免措置
- 学校図書館の地域開放(放課後・休日等)を進める



中1の壁 ~障害のある中学生~

小学校を卒業した後も、適切な保護が必要です。が現時点では受けられる制度が整っていません。つまり、保護者の就労継続は困難です。しかし、区は、**障害のある子の実態調査の質問から、「子育てと仕事の両立について」の項を削除してしまっただけ、発想すらありません。障害のある子の子育て支援について、中学生以降は「子育てと仕事の両立は自己責任で」と切り捨てているのが実態です。障害のある子の家庭を追い詰めています。**

障害のある子の子育てはずっと続きます。途切れない支援を求めています。

「こども基本法」スタート

子どもの権利条約の原則である「差別の禁止」「子どもにとって最も良いことの優先」「命を守られ、医療、教育、生活への支援を受け成長する権利」「子どもの意見の尊重」など子どもの権利を取り入れた、子ども政策の包括的な法律「子ども基本法」が、4月からスタートしました。

(こどもむけに)まとめられた説明は以下です。

- みんなが大切にされ、差別(さべつ)されないこと
- みんなが守られること
- みんなが意見をいえること
- こどもにとっていいことを、大人がやってくれること



OTEMOTO (2022.08.06) 記事より

すべての子どもの権利が守られ、幸せに育つ社会を創るためには、文京区に「子どもの権利条例」を策定することも重要であり求めています。かつ、条例が出来るまでの今も、子どもの権利を守るための「こども基本法」「子どもの権利条約」を根拠に文京区の事業を丁寧にチェックしていきます。

「子どもの意見を聴く」…どのように保障するか?

学校は、「これまでも子どもの意見は聴いてきた」としています。が、**子どもたちが実感を持っているかという点で違います。**子どもが意見を伝えやすい仕組みを作るために、**まずは子どもの権利を教え、その上でどうしたらいいと思うか「子どもから意見を聴く」ことです。**家庭から学校等に要望するときは「こども基本法」の理念をベースに伝えるようにしてください。子どもにとって「言わない」「言えない」「言わせない」という環境から、「意見がいいやすい」と実感できる環境へ、要望を続けます。



公共施設×ユニバーサルデザイン 文京区はまだ無頓着!?

国や都は、自治体に「ユニバーサル社会の実現に向けた諸施策を総合的かつ一体的に推進する責務」を求めています。ところが、文京区はバリアフリー法で義務付けられたエレベーターの大きさ、廊下、出入り口の幅、トイレの数等といった最低限レベルのみを満たした公共施設設計にとどまっています。ユニバーサルデザインを取り込んだ公共施設の重要性は少しも気につけず、チェックする部署もありません。

ユニバーサルデザイン 5つの視点

- 公平** だれもが同じように施設や設備を利用できる
例えは → 車椅子やベビーカー等でエレベーターを利用する際も遠回りせず、同じ動線で利用できる経路
- 簡単** 使う人の知識や能力、状況に関係なく、容易に施設や設備が利用できる
例えは → 案内等が、必要な場所で適切な方法により入手できる
- 安全** 特別な注意を払わなくても、危険なく施設や設備を利用できる
例えは → だれにとっても、危険な箇所や設備がないように配慮されている
- 機能** 使い勝手良く施設、設備を利用できる
例えは → どのような体格や身体機能の人にも、利用しやすいスペースや大きさ
- 快適** 気持ちよく施設や設備を利用できる
例えは → 疎外感を感じる人を生みず、誰もが快適さや心地よさを感じられるよう、素材や色使い等にも配慮



改修したシビック大ホールにも、改築が進む公共施設にも、ユニバーサルデザインの視点は欠如し、疎外感を感じる人を生む公共施設となっています。**いま一番大きな文京区の問題は、「おかしい」「これは変だ」と気づく職員がいても「そのままよし」としてごまかし、改善する力が非常に弱くなっていることです。区長は、「考えず・モノ言わず・行動しない」職員像を求めているのか、とさえ映ります。**誰ひとり取り残さず「区民が幸せになるため」の公共施設を後世に残すよう要望を続けます。



巨大地震に向けて 避難所の暮らし

学校は避難所に指定され、災害時には家を失った方たちの拠り所になります。生きるための英気を養う場所でもあります。一方、学校は子どもたちの日常を早期に取り戻す役割も担います。法律で、避難所の安全性及び良好な居住環境を提供する義務を課せられている自治体としては、学校の早期再開を目指しつつ、被災者の生活の質も担保する視点が欠かせません。

被災したショックと共に、避難所生活が長期化すればするほど、肉体的にも精神的にもダメージが蓄積されていきます。それだけに様々な我慢を少しでも軽減させる工夫を考慮した学校設計が重要です。被災者を支援する区職員等もまた被災者です。職員の精神的な負担を軽減させるためにも、**被災者の笑顔が増えるようなハード面の設計を考えておく視点は外せません。他自治体は始めていることです。**

学校が再開しても、被災者が体育館のみに閉じ込められることなく、子どもたちと動線を分け、日中でも自由に過ごせる環境として提供できるエリアと、非開放のエリアをうまく住み分ける配置を工夫した学校設計が必須になります。文京区の現状は周回遅れです。

区内の小中学校では、児童数の増加に伴う教室不足からも増改築が続きます。上記の視点をもった増改築は、**地域住民が日頃からつながりを作っていく上でも重要です。**

「学校の早期再開」×「避難生活の質」両立させるハード設計

| 地域開放エリア | | | | 区画 | 非開放エリア | |
|---------|--------|-----|------|----|--------|------|
| 体育館 | 図書室 | 音楽室 | 家庭科室 | | 職員室 | 普通教室 |
| 和室 | ランチルーム | 等 | | | 理科室 | PTA室 |

スクールソーシャルワーカー(SSW)も活用しよう! 子どもの笑顔は大人の笑顔から!

区立小中学校を10人のSSWが巡回しています。子どもを真ん中にすえて、子どもが自分らしく安心して育っていくには、大人自身が安心して日々を過ごせてこそです。子どものことに限らず、家族への支援も関係機関と連携して行います。

子どものためにも、こんな困りごとの相談も

- 夫婦喧嘩が増え、家庭の中が落ち着かない
- 気分が落ち込み家のこともやる気がでない
- 教育や生活に必要なものを買うためのお金がない

相談は学校へ問い合わせを。学校を通したくないときには、教育センター学校支援係・スクールソーシャルワーカー
03-5800-2633(直通)